

「歴史マンガ西南戦争 吉次峠編 一友への祈り」は事実を題材にしたフィクションです。

歴史マンガ

西南戦争

吉次峠編

一友への祈り

金峰山

三ノ岳

吉次峠

2020(令和2)年春

熊本県玉東町

半高山

こんにちは――

玉東中から
来ました！

おや

そうか
今日は中学生が話
聞きに
来るて言いつたな

ほう、見てみなうせ
あつが半高山
西南戦争の激戦地ばん

こん道が吉次往還の本通りで、
昔は兩脇に
壕(塹壕)があつたもんなん

こは
そこで拾つたもんたい

※壕(塹壕)・・・戦争で敵の銃砲弾から身を守るために陣地に掘った穴や溝。

〈明治〉

〈令和〉

登場人物紹介



源吉
薩摩藩出身の士族
政府軍として
西南戦争に参加



達之助
薩摩藩出身 士族
西南戦争に参加



西郷隆盛
薩摩藩出身の士族
明治維新で活躍
西南戦争では薩軍の
リーダーとなりました



野津道貫
薩摩藩出身の政治家
明治政府では陸軍少佐を
務めていました



篠原国幹
薩摩藩出身の士族
西郷の信頼も厚く
勇敢な軍人として
知られています



山本さん
(玉東中学2年生)
明るくてみんなに
慕われている優等生



田中くん
(玉東中学2年生)
とにかく真面目
趣味は模型作り



清田さん(語りべ)
玉東町で生まれ育ち
西南戦争のことを
語り継いでいます

※このマンガに登場する達之助と源吉は歴史上存在しない架空の人物です。

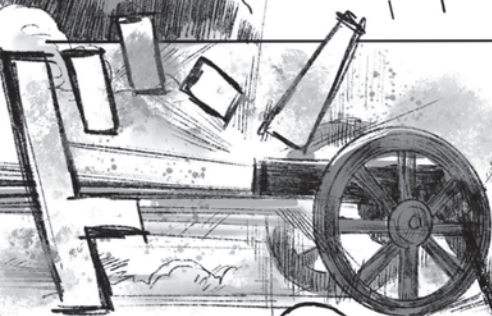
なんですか？それ？

これは政府軍の
帽章たん

誰が落としたもんかね…

1877(明治10)年
3月3日

砲隊長、
どこに狙いを？



撃て！

あそこ
ハンコヤマちゅう山に
照準を合わせい



おい！源！
聞いたか？

なんじゃ？



賊(薩摩)の
篠原国幹が
撃たれたそうだが
知ってるか？

なんてな！
篠原さあが！

江田少佐がやったらしい
薩摩人同士でやりあうというのは
きついな

もうおいは
同郷の者同士で
殺しあうとはいやじゃ

しつ！
指揮官が来るぞ！

達之助…
今頃どうして…



原倉六本桶にて篠原国幹が同郷の
江田国通(政府軍)に狙撃され戦死した



薩軍二番大隊長
篠原国幹

文武に優れ西郷の右腕と
いわれる人物であった

達の助け！
篠原さまを
二本木へ送れつ！



3月3日、4日の
吉次峠の戦いで
政府軍は多数の
戦死者を出した

まさに地獄峠…
田原坂へ向かう！

吉次峠突破を一旦見送り
田原坂へと主力の兵を
向かわせた

二本木薩軍本營



政府軍第二旅団参謀長
野津道貫(薩摩出身)



篠原さま…

西郷隆盛



薩摩藩士だった篠原国幹は明治政府軍で陸軍少佐を務めました。明治6年の政変で西郷隆盛と行動を共に薩摩へ帰郷します。吉次峠での戦いでは隊長として陣頭に立つことで兵士たちを奮い立たせようとしますが、この時政府軍の中に篠原を見知っていた江田国通少佐が射撃兵に「マントを着た人物を打て」と命令。篠原は銃弾を浴びて亡くなりました。銀装の太刀を帯び緋(赤)裏のマントという勇装だったそうです。江田少佐もその後復讐に燃える西郷軍兵士に狙撃されて戦死。二本木本營に運ばれた篠原の遺体の側で西郷は大粒の涙を流したと伝えられています。

西南戦争 ミニコラム ① 篠原国幹の戦死



篠原国幹 (1837～1877) ▶
薩軍一番大隊長
薩摩人に大変慕われた人物であった。



◀ 篠原国幹戦没の地
原倉六本桶



吉次峠を守る熊本隊を中心とする西郷軍は天然の要害といわれる地形を最大限利用し田原坂陥落後もこの地を死守していた

佐々友房

吉次の険は城よりも険なり！

退くなあ！
進めい！

横平山方向から攻め来る政府軍に西郷軍は次第に押されていた



西南戦争ミニコラム②
「地獄峠」といわれた吉次峠

当時、地域を結ぶために整備された道路は田原坂を通る三池往還と高瀬(玉名市)と大窪(熊本市)を結ぶ吉次往還でした。比較的なだらかな三池往還の道筋に対して吉次往還は山道といってもよく、途中には金峰山・三ノ岳と半高山にはさまれた難所「吉次峠」があります。天然の要害で、守るに易く攻めるに難いこの地は、西郷軍の中でも熊本の地形に通じた熊本隊で守られることとなりました。3月3日から4日にかけて政府軍が激しい攻撃を加えましたが熊本隊が死守し、政府軍から「地獄峠」としておそれられました。



▲4月1日吉次峠を政府軍が占領。その後の写真



